

事例1

呉服染色加工・卸A社

H16/6期
資本金 1,000万円
売上高 6億円
従業員 19名
(関連会社を含む)

H16/2

- ・和装業界の長期にわたる消費低迷、大口取引先の倒産により資金繰りが悪化
- ・さらに、H12年にメインバンクが破綻し、借入金の95%がRCCに移管され、資金調達が困難
- ・RCCからの退出と事業再生のために協議会へ相談

RCCからの退出と経営改善策の速やかな実行により、順調に業績が回復している例

協議会による支援

H16/7～8

- ・RCC向け債務の一部を一括返済し、残額の債務免除を受ける再生計画を策定
- ・RCCからの退出が実現し、新たなメインバンクとの取引が開始され、業界内での信用が回復

H16/2～H16/7
協議会が、RCCとの一括返済額の調整、地域金融機関とのRCC返済資金調達の調整等を行い、再生計画策定を支援

計画の策定を受け、新たにメインバンクとなる地域金融機関がRCC返済資金を融資し、RCCは債務免除を実施。

H16/8～

- ・関連会社との合併、経費削減及び生産工程の見直しにより利益率が改善
- ・全国に販売網を持つ取引先への営業強化と主力商品の切替により売上が増加

計画が着実に実施されるよう、売上・利益の達成状況や、経営改善の進捗状況等の確認を行い、アドバイスを実施

H17/5

- ・H16/7～H17/3試算表ベース(9ヶ月間)
売上高：5.1億円(計画対比 120%)
経常利益：46百万円(計画対比 262%)
- ・従業員約20名の雇用確保
- ・外注先15業種50社にのぼる広範な取引が維持、継続された

今後も、決算・中間決算について定期的にフォローアップを行い、必要に応じてアドバイスを行う。
(フォローアップ終了予定H18/8)